

大会プログラム

【特別講演】

6月1日(木)

特別講演(1) 16:30～17:30 B会場:39-601

Human Factors Research in Automated Driving

講演者: 遠藤 照昌 (トヨタ自動車 車両技術開発部 主査)

司会者: 小谷 賢太郎 (ACED 大会長, 関西大学)

6月2日(金)

ACED 特別セッション 9:30～12:00 B会場:39-601

- New trend of ergonomics and design towards cd society -

特別講演(2)

Advanced Topic on Ergonomics - Service Design

講演者: 持丸 正明 (産業総合技術研究所)

司会者: 小林 大二 (千歳科学技術大学)

パネルディスカッション

モデレータ: 持丸 正明 (産業総合技術研究所)

パネリスト: Yan Luximon 氏 (The Hong Kong Polytechnic University)

山岡 俊樹 (京都女子大学)

下村 芳樹 (首都大学東京)

特別講演(3) 13:00～13:45 B会場:39-601

Biomechanical factors associated with pushing and pulling

講演者: Andrew Todd 氏

(IEA International Development Committee Chair, 南アフリカ)

司会者: 藤田 祐志 (IEA 会長)

特別講演(4) 13:45～14:30 B会場:39-601

講演者: Jose Orlando Gomes 氏 (IEA 副会長, ブラジル)

司会者: 藤田 祐志 (IEA 会長)

特別講演(5) 14:30～15:15 B会場:39-601

Toward a development of HFE discipline in Asian region

講演者: 小谷 賢太郎 (ACED 大会長, 関西大学)

司会者: 藤田 祐志 (IEA 会長)

6月3日(土)

特別講演(6) 13:00～13:45 A会場:37-101

Ergonomics in International Space Station: It's an almost life on the earth?

講演者: 坂下 哲也 (JAXA)

司会者: 鳥居塚 崇 (JES 大会長, 日本大学)

特別講演(7) 13:45～14:20 A会場:37-101

Ergonomics in Advanced Imaging Technologies

講演者: 河合 隆史 (早稲田大学)

司会者: 鳥居塚 崇 (JES 大会長, 日本大学)

6月4日(日)

特別講演(8) 13:00～13:40 A会場:37-101

Ergonomics in India - Growth, Development and Issue

講演者: Dr.Anindya Kumar Ganguli (インド人間工学会会長、インド)

司会者: 小谷 賢太郎 (ACED 大会長, 関西大学)

特別講演(9) 13:40～14:20 A会場:37-101

Ergonomic issues in occupational health in Vietnam

講演者: Dr.Nguyen Bich Diep

(Senior Expert, WHO Collaborating Center, ベトナム)

司会者: 小谷 賢太郎 (ACED 大会長, 関西大学)

【ACED 企画】

6月1日(木)

IEA の紹介と ACED への期待 13:00～13:30 B 会場:39-601

講演者: 藤田 祐志 (IEA 会長)

司会者: 小谷 賢太郎 (ACED 大会長, 関西大学)

アジアの人間工学紹介 13:45～16:15 B 会場:39-601

紹介者: 13～14 のアジア諸国・地域から参加予定

司会者: 小谷 賢太郎 (ACED 大会長, 関西大学)

6月2日(金)

シンポジウム:人間工学の普及・教育(仮題) 15:30～17:30 B 会場:39-601

司会者: 藤田 祐志 (IEA 会長)

6月4日(日)

ACED2017 Design Award Session 10:10～11:10 F 会場:39-401

【学会企画】

6月4日(日)

ACED/JES 共同シンポジウム 9:00～11:10 B会場:39-601

Cooperation in Asia on certification of professional ergonomists

オーガナイザ: 福住 伸一 (NEC)

KD1-1 Co-symposium by JES/ACED

KD1-2 Professional Human Factors and Ergonomics Certification ○Frederick Tey (Human Factors & Ergonomics Society of Singapore), Maggie Graf (Swiss State Secretariat of Economic Affairs)

KD1-3 Overview of certified ergonomics expert qualification system in Japan and its issues ○Motoharu YOKOI (CPEJ / Honda R&D Co., Ltd.)

KD1-4 Challenges in Establishing the Professional Ergonomist Certification Scheme in Malaysia ○Shamsul Bahri Mohd Tamrin(Universiti Putra Malaysia), Muhammad Syafiq Syed Mohamed (Universiti Teknikal Malaysia Melaka), Ng Yee Guan(Human Factors and Ergonomics Society Malaysia)

学生・若手向けの教育講演シリーズ 12:00～12:50 A会場:37-101

人間工学研究を進めるにあたり知っておいてほしい7つのこと(ランチセッション)

講演者: 榎原 毅 (名古屋市立大学)

【一般企画シンポジウム】

6月3日(土)

F1(S) 9:00～10:00 F会場:39-401

人間工学専門家認定機構企画シンポジウム

「人間工学専門家資格取得のきっかけと資格の活用を考える！」

オーガナイザー: 吉武 良治(芝浦工業大学)

- F1(S)-1 マネジメントシステム規格の機能不全—産業組織分野における人間工学への期待— ○馬場慎一郎(インフォーマルラーニング(株))
- F1(S)-2 人間工学専門家資格の概要と最近の動向 ○吉武良治(芝浦工業大学), 横井元治(本田技術研究所), 福住伸一(日本電気)
- F1(S)-3 ショートプレゼン: 人間工学専門家・準専門家による最近の活動紹介と資格取得の経緯紹介 ○登壇者: 井出有紀子(日本電気(株)), 岡本鉄兵((株)リコー), 黒米克仁(日本アイ・ビー・エム(株)), 矢口博之(東京電機大学)他

A2(S) 10:10～11:10 A会場:37-101

Service Design

オーガナイザー: 山岡 俊樹(京都女子大学)

- A2(S)-1 Service design method ○Toshiki Yamaoka, Yuu Fujita (Kyoto Women's University)
- A2(S)-2 Classification of the comfortable feeling at using Deodorizer by Mobile Phone Research ○Hideyuki Imai 1, Noriko Hara (LION CORPORATIO)
- A2(S)-3 User Experience Evaluation of People-Dominant Service Interface ○Ryota Mori (Nagano Prefectural College,)
- A2(S)-4 A Study of Integration of the System Elements as Service ○Kazutoshi Sakaguchi(1Fujitsu Design Limited.), Seiko Shirasaka(Keio University)
- A2(S)-5 Shop layout design analysis - case of localized coffee shops. ○Keita Yasui (Design Ergonomics Research Group)

H4(S) 15:50～16:50 H会場:39-408

安全人間工学部会企画シンポジウム

疲労と安全～疲労リスク管理(FRMS)の有効性と実践～

オーガナイザー: 酒井 一博(労働科学研究所)

- H4(S)-1 過重労働対策としての疲労リスク管理の現状と課題(仮) ○高橋正也(労働安全衛生総合研究所)
- H4(S)-2 海事分野における疲労と事故ならびに国際疲労対策(仮) ○福岡幸二(労働科学研究所)

6月4日(日)

A6(S) 9:00~10:00 A会場:37-101

海事人間工学研究部会企画シンポジウム

超小型センサが切り開く、将来の海事研究

オーガナイザ: 才木 常正 (兵庫県立工業技術センター生産技術部)

- A6(S)-1 ウェアラブル生体センサと海上労働への応用
ー操船シミュレータ教育訓練評価への応用ー ○樋口 行平(アフォードセンス(株))、村井 康二
(神戸大学)
- A6(S)-2 口腔内総合センシング技術による潜水者の安全確保 ○瀧澤 由佳子(兵庫県立工業技術センター)、才
木 常正(兵庫県立工業技術センター、兵庫県立大
学)有馬 正和(大阪府立大学)、村井 康二(神戸大
学) 荒木 望(兵庫県立大学) 前中 一介(兵庫県立
大学)
- A6(S)-3 釣り竿の振動加速度の測定と釣り支援システム
への応用 ○荒木 望(兵庫県立大学)、前中一介(兵庫県立
大学)、吉田陽一(株式会社がまかつ)、才木常正
(兵庫県立工業技術センター)

E6(S) 9:00~10:00 E会場:39-508

Psychophysiology in Ergonomics (PIE)

オーガナイザ: 大須賀 美恵子 (大阪工業大学), 三宅 晋司 (産業医科大学)

- E6(S)-1 Assessment of Cognitive Function using
P3 Components of Eye fixation Related
Potentials ○Kengo Asahi , Mieko Ohsuga (Osaka
Institute of Technology)
- E6(S)-2 Measurement of fNIRS to Estimate
Emotion in a VR System ○Michiko Ohkura, Yoshiki Koinuma, Kazuki
Miyamoto, Kodai Ito, Shin-ichiro Kanoh
(Shibaura institute of Technology)
- E6(S)-3 Rest-Task differences in correlation
coefficients between autonomic nervous
system indices ○Chie Kurosaka(University of Occupational
and Environmental Health), Hiroyuki
Kuraoka(Kyushu Institute of Technology),
Shinji Miyake(University of Occupational and
Environmental Health)
- E6(S)-4 Mental and physical burdens in a hot
environment:Assessments of work clothes
with an air cooling function and cold
compresses attached to the neck ○Shimpei Yamada, Yuto
Fukuyama(University of Occupational
Environmental Health,)
- E6(S)-5 Comparison of indices associated with
skin conductance responses evaluating
for emotional changes induced by tactile
thermal stimuli ○Kentaro Kotani, Takafumi Shinoda,
Satoshi Suzuki, Takafumi Asao(Kansai
University), Sigeyoshi Iizuka(Kanagawa
University)

A7(S) 10:10～11:10 A 会場:37-101

多様化する人間工学

オーガナイザ: 山岡 俊樹 (京都女子大学)

- A7(S)-1 人間工学 3.0 の世界 –サービスデザインの世界- ○山岡俊樹(京都女子大学)
- A7(S)-2 人間工学 1.0～IoT 時代における身体計測とスマートデザイン ○後藤泰徳、平田一郎(兵庫県工業技術センター)
- A7(S)-3 人間工学 2.0 –メンタルモデルとインタフェースデザイン- ○森 亮太 (長野県短期大学)
- A7(S)-4 人間工学 2.0 -汎用システムデザインプロセスによる Web デザイン- ○安井鯨太(デザイン人間工学研究会)

A8(S) 14:40～15:40 A 会場:37-101

業種別人間工学アクションチェックリスト活用による職場環境改善のすすめ方

オーガナイザ: 小木 和孝 (大原記念労働科学研究所)

- A8(S)-1 人間工学アクションチェックリストを活用した“安心して往き来できる街づくり” ○堀野定雄(神奈川大学工学研究所)
- A8(S)-2 医療・介護職場における参加型職場環境改善を支援するツール ○吉川 悦子(日本赤十字看護大学)
- A8(S)-3 船員自主改善活動への活用 –船内向け自主改善活動(WIB)の進展- ○久宗 周二(高崎経済大学経済学部)
- A8(S)-4 メンタルヘルスにおける人間工学アクションチェックリストの活用 ○竹内 由利子(大原記念労働科学研究所)、吉川 徹(労働安全衛生総合研究所)
- A8(S)-5 多業種の参加型改善における人間工学アクションチェックリストの活用 ○佐野 友美、小木 和孝(大原記念労働科学研究所)

【委員会企画シンポジウム】

6月3日(土)

A3(S) 14:40～16:10 A会場:37-101

学会改革・戦略委員会企画シンポジウム

学会活性化のためのアクションプランを皆で議論しよう！

オーガナイザ：榎原 毅（名古屋市立大学）、吉武 良治（芝浦工業大学）

- | | |
|---|---|
| A3(S)-1 日本人間工学会(JES)に対する意識調査 | ○山田クリス 孝介、赤松 幹之、石橋 基範、笠松 慶子、下村 義弘、村木 里志、横井 元治、吉武 良治、榎原 毅(JES学会改革・戦略委員会) |
| A3(S)-2 学会員の属性の動向分析 | ○村木 里志、赤松 幹之、石橋 基範、笠松 慶子、下村 義弘、山田クリス 孝介、横井 元治、吉武 良治、榎原 毅(JES学会改革・戦略委員会) |
| A3(S)-3 若手人材にとって学術大会をより魅力ある形にするために何ができるか？ | ○吉武 良治、赤松 幹之、石橋 基範、笠松 慶子、下村 義弘、村木 里志、山田クリス 孝介、横井 元治、榎原 毅(JES学会改革・戦略委員会) |
| A3(S)-4 多様化する学術ニーズに応える学会改革アクションプランの概要 | ○榎原 毅、赤松 幹之、石橋 基範、笠松 慶子、下村 義弘、村木 里志、山田クリス 孝介、横井 元治、吉武 良治(JES学会改革・戦略委員会) |

A5(S) 16:20～18:00 A会場:37-101

編集委員会企画シンポジウム

良い研究を生み出すための学会誌の役割

オーガナイザ：人間工学誌編集委員会

- | | |
|--|------------------|
| A5(S)-1 学会誌の起源と役割 | ○赤松幹之(産業技術総合研究所) |
| A5(S)-2 人間工学誌に対する学会員の意識調査の結果報告 | ○近井 学(産業技術総合研究所) |
| A5(S)-3 編集委員会として投稿論文に望むこと
ー企業から見た人間工学誌ー | ○赤津裕子(沖電気工業(株)) |
| A5(S)-4 編集委員会として投稿論文に望むこと
ー医療・福祉の現場から望む人間工学誌ー | ○泉 博之(産業医科大学) |
| A5(S)-5 編集委員会として投稿論文に望むこと
ー大学の立場から望む人間工学誌ー | ○山中仁寛(甲南大学) |